

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	二戸市社会福祉協議会 発達支援センター風			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～	2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2024年 12月 20日		～	2025年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通園であり、定期的に保護者学習会を実施していること	・一緒に活動する中で、我が子を知り、関わり方を学び家庭で実践しながら共に育ち合えるように支援している ・活動しながらタイムリーにねらいを伝えたり見るポイントを伝えるようにしている ・ペアレントトレーニングや言葉の発達についての学習会、先輩保護者を招いてのお話会など、同じ悩みを持つ保護者同士の時間を確保している	・学習会の内容について保護者に要望を聞きながら取り入れていきたい
2	建物周辺が自然に囲まれており、散歩や虫取り、水遊びなど思いきり楽しめること	天気の良い日は出来るだけ外で思いきり体を動かして遊ぶ時間を取っている	・普段家庭ではできない外遊びを提供し、体を動かすことの大切さを伝える
3	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画を作成している	・普段から小まめに連絡帳などでやり取りをしている ・定期的に個別面談を実施し、家庭で取り組める目標を保護者のニーズを踏まえて一緒に考えている	・参加回数が少ない保護者に対しても相談機会を確保していきたい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族通園ということもあり、その日の人数によって手狭であり子どもの活動に合わせた空間にならないことがある	・建物の構造上難しく、家族通園のため人数が多くなってしまうことがある	・グループ編成を工夫する ・ぶつかって怪我などしないように活動内容を見直していく
2	暖房の設備が弱い	・子どもは暑がりなためそれに合わせた温度設定をしているため大人には寒く感じるかもしれない	・床にマットを敷き詰める、サーキュレーターで空気の循環をよくするなどの対策を継続する
3	個人情報の取り扱いについて本の貸し出しカードが名前の見える状態で設置してあること	・保護者が探しやすいようにグループごとに分けて設置していた	・個人の出席ファイルに挟み、他者から見えないようにする
4	各種マニュアル、訓練が保護者に周知されていない	・マニュアルについて保護者の見やすい場所に設置されていない ・実施した日に休んでしまい参加できていない保護者もいる	・マニュアルについては分かりやすく見やすい場所に設置する ・実施した時の様子などを通信でお知らせする